

科目名	人文学演習Ⅲ E					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3355

●授業のテーマ

日本近現代文学の研究

●到達目標

各自の研究テーマについて考察し、自分の見解を述べるができる。また、それに関する学説や論考を理解し、的確に表現することができる。

●学習内容(授業概要)

近代日本において誕生した「小説」は、坪内逍遙「小説神髓」によって「小説の主脳は人情なり」と規定された。爾来、我が国の近代化に伴って発展し、成熟期を迎えていった近現代文学は、ひたすら「人間」を見つめ、その本性を描き出すことに邁進していったといえる。旧弊との葛藤と口語体の獲得という二重の重圧を背負っていた近現代文学の諸作家・作品に触れることで、「人間と文学」について考えていきたい。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. ガイダンス
2. 各自の研究テーマを確認する—近代作家
3. 各自の研究テーマを確認する—現代作家
4. 各自の研究テーマを確認する—創作小説
5. 各自の研究テーマを確認する—純文学
6. 各自の研究テーマを確認する—大衆文学
7. 自分の研究テーマに関する発表と討議—作家について
8. 自分の研究テーマに関する発表と討議—作品について
9. 自分の研究テーマに関する発表と討議—時代背景について
10. 自分の研究テーマに関する発表と討議—同時代文学について
11. 自分の研究テーマに関する発表と討議—先行研究の検討
12. 卒業論文の書き方
13. 卒業論文の注意事項
14. 研究テーマと課題について
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

授業前までに、必ず自分の意見をまとめ、資料を用意しておくこと。授業後は、自分の研究テーマについて調査すること。

●成績評価方法・基準

平常の受講態度（40%）、期末レポート（60%）によって評価する。

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

適宜、授業時に指示する。

●履修上の注意

担当する発表の準備はもちろんのこと、他の学生の発表や質疑にも積極的に参加すること。